

工作会 活動記録(H27-5) 報告書

報告者:青山 征二

行事名	工作会 研修 「まつぼっくりのシーサーの工作」 担当:2班
実施日時	2015年5月13日(水曜日) 9時30分～15時 天候:晴
場所	ぷらざこむ 1
参加人員	一般:なし、MNC会員:30名
参加者氏名	<p>1班:坂本、大橋、詠田、中尾、多田、古跡、吉田、上郡、三原 (9名)</p> <p>2班:今西、宮川、飯盛、松田(輝)、青山、水野、今村、高橋(美)、新宅、荒井、藤野 (11名)</p> <p>3班:三橋、松生、沼田、木茂、斎藤(志)、筒井、森本、吉川、牛塚、竹内 (10名)</p> <p>合計:30名</p>
報告事項	<p>会員研修の工作、午前「シーサー」 午後甲山ファミリー観察会の「タヌキ」の試作</p> <p>1. 研修工作「まつぼっくりのシーサー」の制作 マツボックリに椿の殻、ヒマラヤスギの鱗片、竹の輪切り、ナンキンノ種、細枝の楕円輪切り、ケンポナシの種、ナンキンハゼの種、等で顔を作り、胴は直径が3～4cmの枝で作った。 皆さん、特に女性の方は鋸で斜め切りをするのが苦手で苦勞されていた。シーサーの顔はサンプルにとらわれず独創的な色々顔を作られていた。</p> <p>2. 甲山ファミリー観察会の「タヌキ」の試作 マツボックリを2個重ねてタヌキの胴、ヒメヤシャブシで手、ヤシャブシでしっぽ、栃の実の皮でお腹を作りベースの台座に取り付ける。担当の2班はマツボックリのフクロウの試作も行った。 甲山では子供がスムーズに作れるように接着に時間のかかる部分はグルーガンを使うことにした。</p>
連絡事項	<p>1. 5月17日(日)甲山ファミリー観察会の工作はマツボックリを使った「タヌキ」「フクロウ」</p> <p>2. 6月の工作会研修は「シュロのバツタ」。甲山ファミリー観察会の工作は「押し花のしおり」で担当の森本さんからピンキングハサミ、パンチがある人は持ってきてほしい。押し花も作ってきてほしいとの要望があった。</p> <p>3. 7月の工作会について担当の三原さんから研修工作は「メリーゴーランド」、甲山ファミリー観察会は「トーマス」にするとの話があった。</p> <p>4. 多田会長より、学校関係の事業は児童の安全を確保するため多数の参加者が必要で参加者が少ないときは募集しますのでよろしくお願ひしますとの話があった。</p> <p>5. マイ工具 購入希望調査について 中尾さんより、マイ工具購入希望調査についての話があった。各班で纏めて、一括して購入するとの事。</p>

